

スタディツアー報告

スタディツアー イン フィリピン報告

佐々木ゼミ 学部4年

渡邊 暁子 山田美由紀 石塚布由香

小玉 由香 後藤 大志

私たち佐々木ゼミでは、期待と不安を胸に秘めながら、2012年3月21日～3月29日の9日間フィリピンのダバオに行った。滞在中のスケジュールは以下の表の通りである。なお、太文字表記となっている箇所が、発表したところである。

月日	都市名	交通機関	現地時刻	摘要
3月21日	成田 マニラ ダバオ	PR431便 PR813便 専用車	9:30 15:30 17:20	成田よりマニラ (13:35着) 経由ダバオへ。 歓迎夕食会
22日	ダバオ	専用車	AM PM	MKD (ミンダナオ国際大学) 見学。学生と市内見学。 Ma-a-13見学。
23日	ダバオ	専用車	AM PM	YAGI幼稚園卒園式参列 市内見学 (チャイナタウン・SMマーケット)
24日	ダバオ	専用車	AM PM	ミンタルカリナン歴史資料館見学。 ハウスオブジョイへ。
25日	ダバオ・オリ エンタル			ハウスオブジョイ滞在。 子供たちと交流しウラワビーチへ。
26日	ダバオ・オリ エンタル ダバオ	専用車	AM PM	子供と交流 ハウスオブジョイからドミトリーへ。 市内見学 (アブリーザ)
27日	ダバオ	専用車	AM PM	MKD学生とアグダオマーケットで買い出し、老人ホームコスギアンへ炊き出し。 市内見学
28日	ダバオ	専用車	AM PM	MKD卒業式参列。 お別れ夕食会。
29日	ダバオ マニラ 成田	PR820便 PR432便	7:10 14:30 19:55	国内線でマニラ (9:00) 市内見学 成田着

【訪れた感想（発表内容から抜粋）】

〈Ma-a13〉

卒園式に参加させていただいた。式では子どもひとりひとりに〇〇賞（日本でいう通知表のようなもの）や小学校で使う文房具が手渡されたり、子どもたちが歌を歌ったり、親と先生が歌を歌ったり、と貧しい中でも子どもを大切に、協力し合って生活している様子を見ることができた。

〈八木幼稚園〉

卒園式に参加させていただいた。フィリピンの卒業式は入場の際親子で入場するのが習慣のようだった。入場の際保護者席はほぼ開いていた。その背景には「出稼ぎ大国」というものがある。フィリピンでは、最も大切な子供の成長期に親がいないという家庭が少なくない。大卒で国内就業できるのが2～3割と厳しい現実がある。職を求めて海外に行くのもやむを得ない。その点から、両親揃っての式参加は難しいのである。片方の親が子供の教育資金のために働きに出ている。フィリピンは男性ではなく女性が働くことが多いそうだ。行きの飛行機で隣に座っていたフィリピン人女性は7年ぶりに国に帰ってきたと話していたのを思い出す。貧困層の幼稚園に比べたら、制服も会場も整えられており、貧富の差を直接感じることができた。

〈ハウス オブ ジョイ〉

フィリピンのミンダナオ島にある日本人が運営している孤児院に行った。そこでは、子どもたちと楽しく遊んだ。そのなかで、仲間の大切さを痛感した。また、辛いこともあるのだろうけども、楽しそうにしている子どもたちの姿を見ることができた。



【あとがきに添えて】

私たち佐々木ゼミは、今回のスタディツアーで得た経験やつながりをこれからも活かしていきたいと思います。例えば、今でも〈ハウス オブ ジョイ〉とのつながりはきえていません。今年度も日本でできるボランティア活動を続けてきました。今後も、そのような活動を続けていきたいと考えています。